

病棟名 : 6 西病棟

病床数 : 40 床

スタッフ人数 : 看護師長 1 名・副看護師長 2 名

スタッフ 22 名・アシスタント 3 名・事務アシスタント 1 名

男性看護師 : 4 名



部署の雰囲気 :

師長、副師長はじめ明るく優しいスタッフが多い病棟です。

医師、理学療法士、作業療法士、言語療法士なども多職種と協働して部署全体で協力してあって患者ケアに取り組んでいます。スタッフ同士の人間関係もよいので年齢、職種に関係なくしっかり自分の思ったことを言える雰囲気があります。

部署の自慢できることは :

脳神経外科、神経内科の病棟で脳外科では脳腫瘍、脳梗塞、脳出血などの疾患が多く、一般病棟のなかでも全身管理を含めて高度な急性期医療を学べます。

神経内科では脳梗塞、ALS、パーキンソン病、ギランバレー症候群、多発性硬化症などの疾患が多く神経内科でしか学べない事例が多くあります。また脳梗塞、脳出血は様々な疾患の合併症にも数えられます。今後の看護師生活のなかで、どこにいても対応しなければならない疾患になります。当病棟のスタッフはそういった脳神経疾患の急性期から全身管理まで対応できる看護師がそろっています。

脳卒中リハビリテーション認定看護師1名と摂食嚥下障害看護認定看護師1名が在籍しており指導体制も充実しています。

師長(管理者)からのメッセージ : 柴田育代

<大切にしていること> 気付きの看護

: 小さな事にも気がつけるような看護を目指しています。



6 西病棟は脳神経外科と脳神経内科の混合病棟です。

部署のビジョンを『私たちは、常に患者さんの尊厳を意識し、丁寧で細やかな看護を提供します』と掲げて看護をおこなっています。

脳や神経系にダメージを受けていても、残された機能を最大限に活かせるようにスタッフ一同、多職種で協働して患者さんに関わっています。早期からリハビリを行い、みんなでカンファレンスを行いながら、それぞれの患者さんのその人らしさを大切に、生きる力を支えながら看護を行っています。

日常生活動作に関するケアも多いことから、リハビリの先生やスタッフとも密に連携をとりながら看護を提供しています。

6 西スタッフの特徴は、明るく声かけをしながら、みんなで一緒に患者さんに関わっていることから、和気藹々とした雰囲気があります。先輩方もみんな優しく、とても仕事がしやすい部署です。是非とも一緒に働きながら、多くのことを一緒に学びましょう。

